

演題名	「どこでもかん流装置」による採卵方法の 検討		
発表者 氏名	小松 洋太郎	所属	伊那家畜保健衛生所
<p>全農長野ETセンターが作製した、携帯用乾電池式ローリング型エアポンプを動力とする簡易型子宮かん流装置（「どこでもかん流装置」）により採卵を行い、その有効性を検討。同装置は、アルミ製脚立及び関連機材をすべて収納した縦長ハードケースからなり、機動性に優れ様々な採卵環境に適応。バルーンカテーテル先端開口部を大きく広げ、エアポンプにより圧力を増加させ、かん流時間を短縮するよう工夫。採卵は、2001年8月から2002年11月までの間に、上伊那農業高校繋養供胚牛13頭に33回実施。バルーンカテーテルの子宮内への挿入・セットが問題なくできた場合の標準的な所要時間は20分/回で、従来法に比べ短時間での採卵が可能。採取卵数375個（11.4個/回）、移植可能胚数261個（7.9個/回）と採卵成績は良好で、同装置の有効性を実証。今後、同装置を野外でより一層利用することが重要と考察。</p>			